**日タイ高校生ICTフェア参加募集要項**

別紙１

（概要）

日タイ高校生ICTフェアは、タイ王国プリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール（PCSHS）の国際交流を目的として、タイ教育省基礎教育委員会（OBEC）が2016年から日本のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）を招聘して実施しているもので、今回（TJ-SIF2019）が2回目の開催となります。TJ-SIF 2019では、プラユット首相列席のもと、PCSHS全12校をはじめ日本の多くのSSHが参加して、ICT/ IoT分野における研究活動成果の発表が計画されています。現在、PCSHSの生徒を高専の1年次から受け入れる新たなプログラムも進んでおり、同校との関係強化ならびに高専の国際化に資する取り組みとして参加校を募集するものです。

１．目的

　 　TJ-SIF2019への参加を通じて学生のコミュニケーション能力と学術能力の向上を図り、将来的にはPCSHS（全12校）と高専間の協定締結を前提とした交流拡大に繋げる。

1. プログラム実施日程

2019年12月20日（金）～12月22日（日）

※詳細は下記URLを参照願います。

<http://tjsif2019.pccm.ac.th/web/>

３．主催者

　　　タイ教育省基礎教育委員会（Office of the Basic Education Commission (OBEC),　Ministry of Education, Thailand）

※日本国際協力機構（JICA）支援

４．開催地

　　　タイ王国PCSHSムクダハン校（Princess Chulabhorn Science High School Mukdahan: Moo 6 Bang Sai Yai, Muang, Mukdahan, Thailand 49000）

５．高専派遣者内訳

(1) 派遣校数 ：　最大20校

(2) 派遣学生数 ：　2 - 4名／校（1プロジェクト2名、2プロジェクトまで登録可能）

(3) 引率教職員 ：　プロジェクト数に関わらず 2名まで

※　最大120名（6名／校：　学生80名＋教職員40名）

６．対象学生

　　(1)　本科2 - 3年生（派遣時）

　　(2)　プロジェクト分野： IoT Application, Robotic, Automotive, Software, Smart Electronic

７．内容

(1) 英語によるプロジェクトテーマの口頭発表（10分）及びポスターセッション

(2)　日本人による基調講演（調整中）

(3)　教員による情報交換会及び校長意見交換会

(4)　最終日（12月22日）に社会見学と送別会を予定

８．費用分担

(1) 学生：　日本国内移動費、日本～タイ（\*現地最寄り空港）航空運賃本人負担

\*Ubon Rachathani Airport, Nakhon Phanom Airport, or Sakon Nakhon Airport

(2)　引率教職員：　同上（各高専負担）

(3) タイ教育省：　学生・引率教員共、タイ国内交通費、宿泊費（教職員はホテル、学生はPCSHS Mukdahan校の学生寮に宿泊予定）、および滞在期間中の食費はタイ教育省が負担する

９．申し込み方法

(1) 提出書類

　　　　　下記、有明高専ホームページまたは学生課教務係から、別紙2「Participant List for Thailand-Japan Student ICT Fair 2019」1～3の部分を記入の上、期日までに提出願います。

(2) 提出期限

平成31年2月1日（金）　学内締切

(3) 提出先

　　　　　学生課教務係

１０．選考基準（応募多数の場合、以下の優先順位にて選考を行う）

　　(1) \*TJ-SSF2018参加校（オブザーバー参加を含む）

\*平成30年6月7日～9日PCSHSピッサヌローク校で開催

　　(2)　PCSHSとの交流協定締結を希望する学校

　　(3)　2件のプロジェクト登録を希望する学校

　　(4)　その他

１１．参加登録日程

(1) 平成30年12月上旬　 機構事務局から各高専宛に参加募集送付

(2) 平成31年2月15日 募集締め切り

(3) 平成31年2月下旬 機構事務局よりタイ教育省（OBEC）に参加者概要連絡

(4) 平成31年3月上旬　 TJ-SIF2019事務局から各参加高専の担当窓口宛に参加申し

　　　　　　　　　　　　　　　　　　込み用ウェブサイトへのリンクを送付

(5) 平成31年4月1日 参加者情報のウェブ登録開始

(6) 平成31年6月14日 参加登録締め切り

(7) 平成31年6月15日　 Abstract提出締め切り

(8) 平成31年7月31日　 Full Paper提出締め切り

※ (5)～(8)は各高専にて対応願います。

以上